

安全大会

努力惜しまずに

大林道路大阪支店

大林道路大阪支店と同支店安全衛生協力は27



日、大阪市淀川区のメルパーク大阪で16年度安全大会を開いた。写真。関係者約200人が参加し、「繰り返し型労働災害、公衆災害および交通事故の絶滅、安全ルールの厳守」のスローガンの下、安全意識を高揚し、安全で快適な職場づくりにまい進することを誓いあった。

冒頭、同支店安全衛生協会の榎並克彦会長が「大会を契機に、あらためて労働災害防止の重要性を認識し、リスクアセスメントをはじめとする

危険ゼロの職場づくりに向けた活動を実施していく」とあいさつ。地方安全衛生総括責任者を務める池田朗常務執行役員支店長は「安全は日々の積み重ねであり、関係者が一丸となって各種の労働災害防止対策を総合的・計画的に進めるとともに、工事に携わるすべての人が情熱を持って無災害に向けての努力を惜しまないことが重要だ。全員でルールを守り、安全で安心な職場環境の実現に向けた活動をより一層強化してほしい」と

呼び掛けた。続いて来賓の窪田浩和天満労働基準監督署長と渡邊紀彦大林組大阪本店建築事業部安全環境部副部長があいさつを述べた後、大林道路本店中央安全衛生総括責任者の坪内卓夫代表取締役専務執行役員があいさつ。恒例の表彰式では池田支店長らが優秀な安全成績を収めた作業所や協力会社、個人に表彰状を贈ったほか、安全宣言では安全協会の松本哲夫副会長が力強く宣言文を読み上げた。